臺灣日日新報 昭和七年六月十五日 (第二種郵便物認可) (原満紀元節) (甲第廿一年五月九日第三種郵便物認可) 第一万一千五百六十號 (一)

臺灣日日新報

夕刊定価一部金五銭 六月十四日

滿洲國承認決議案 けふ衆議院に上程

政府は自重的態度を執り 聞き置くに留めん

總督、都督などの 名稱は使はない

内田伯を遮二無二 外相に祭り込む

十五日首相が會見して 即日親任式擧行を奏請

内田副總裁の 昇任で充分

後任總裁と軍部の態度

内田總裁が 拓相訪問

對滿策を協議

農村救濟の 立案を急ぐ

五省會議を開いて

英佛の巨頭連 壽府に向ふ

車中賠償軍縮の 諸問題を懇談しつつ

滿洲國の協和會 發會式擧行

いよ〳〵十八日に

總裁に溥儀氏推戴

除名脫黨を賭して 新黨樹立に轉向か

安達氏復黨に見切りをつけ 民政黨内の强硬派

若槻總裁 復黨派を招致 運動斷念を 希望

十九ケ國委員會の 召集日取り

十五日ごろとならう

決議案中の 通貨政策 首相は民政黨と 同一所見

議會振肅の 委員會 小委員を選ぶ

内田伯陸相の 會談内容

定期敍勳 (東京十四日發電通)

日銀の幹事に 入江氏が就任

火の鳥

(117)

前田晃作
橋本邦助畫

ムターレソメ
メンソレータムの防備
この攻防戰の
凱歌必ず
我にあり
蚊の跳梁に
蚊、蜂、一切の虫刺されやかぶれ、すり傷、切り傷、火傷、止痒
効
特
二十五錢
四十五錢
九十錢
二圓八十錢

全國の鄕軍代表 兵變の北滿視察

盛大なりし鄕軍大會 滿洲即時承認を決議

【奉天特信小波通信員發】三百萬の會員を擁する帝國在鄕軍人會は五日間の日程を以て奉天に於て記念すべき本年度の聯合大會を開催したが會期は二十世紀の戰慄いと稱せられる奉天會戰の記念日當日を選定され、先づ忠靈塔を參拜し、次で昨年の秋季大演習に於ける名譽の戰跡地を視察し、更に滿洲事變の犧牲となつた勇士を弔ふ

【奉天特信小波通信員發】三百萬の會員を擁する帝國在鄕軍人會は五日間の日程を以て奉天に於て記念すべき本年度の聯合大會を開催したが會期は二十世紀の戰慄いと稱せられる奉天會戰の記念日當日を選定され、先づ忠靈塔を參拜し、次で昨年の秋季大演習に於ける名譽の戰跡地を視察し、更に滿洲事變の犧牲となつた勇士を弔ふ

忠靈塔を參拜

殘月譜 (204)

志乃田和司作
清水三重三畫

蛸床（五）

鍛冶橋で降つて呉れと言つた方へ來た。

「源ちやん、何處へ行かう」

「へゝゝ、酒みませんか」

「酒りまうか」

「酒りまうよ、駈らやん、あんないゝ處を待つんなら、現代なんか際にようたつてやつとく來ないよ」

「一、そんなものですかい」

蛸床の親方、鍋子を取るのが、うまいものなら

「ふゝ、さうだとも、金なんか、何でもありやしないさ」

三子ヶ淵、まるで自分が現代を際に取つたやうなことを言つて居る。

「酒む際、待ちません」

駈三が三子ヶ淵に云つた。

「あゝ待つてくれ、待つてくれ、腹つて駈だ、背お大盛だつたんだから、今日だつて、いくらかは待つてくれらう」

「そりや、關取よりや多いだらう」

駈三、苦笑した。

「俺なんざえ、駈總關か、やつとこさだ」

三子ヶ淵、なか〳〵隅には置けない。

「親方、鮭ぎだよ」

「ほう、こりや〻、急に」

「さうさ、駈公に逃げられちやいけねえ」

「逃げないよ、駈公」

駈公と呼ばれたので、駈三ほ、つい、駈公醒してやつた。そして酒をすゝめて笑つた。

「ちえつ、駈つて云ふのは旦那とお嬢さんと、ああ、いけねえ、近頃ほ、あの医佚の娘でこな野郎までが云やがる」

三子ヶ淵、頭を掻めた。

「駈山しいからさ、親方、さよなら」

魚屑の小僧が、酒番の云ひ捨しで出て行つた。

「ははは、俺に惹ぬられると思つてやがる」

三子ヶ淵、上機嫌であつた。

やがて、酔が廻へて、二子ヶ淵ほ駈三に、一緒に帰つて呉つて。

「すまねえな」

「とう〳〵、駈々しいつたらない。そりや、關取よりや多いだらう」

駈三、苦笑した。

「俺なんざえ、駈總關か、やつとこさだ」

三子ヶ淵、なか〳〵隅には置けない。

「親方、鮭ぎだよ」

「ほう、こりや〻、急に」

「さうさ、駈公に逃げられちやいけねえ」

「逃げないよ、駈公」

駈公と呼ばれたので、駈三ほ、つい、駈公醒してやつた。そして酒をすゝめて笑つた。

「ちえつ、駈つて云ふのは旦那とお嬢さんと、ああ、いけねえ、近頃ほ、あの医佚の娘でこな野郎までが云やがる」

三子ヶ淵、頭を掻めた。

「駈山しいからさ、親方、さよなら」

魚屑の小僧が、酒番の云ひ捨しで出て行つた。

「ははは、俺に惹ぬられると思つてやがる」

三子ヶ淵、上機嫌であつた。

やがて、酔が廻へて、二子ヶ淵ほ駈三に、一緒に帰つて呉つて。

「すまねえな」

童話 小指の三吉

山路登

「ではお祖さんおばあさん行つて參ります」

と小指の三吉は、戸だらけのお體の敏速さ、ネズミ達は、すつかり感心してしまひました。そこで三吉は、盗んだ物を袋にかつがせて

お城の門へ

やつてきてすぐこのことを王様へ傳へてくれるやうに話しました。さあ、お城では大騒ぎでした。この國の大切な大切な寶が誰かに盗まれて、城門が大きはぎの最中でしたから……王様には三吉を呼びまして、色々な御褒美をしてくれました。

王女はやはらかい手の上に三吉をのせて、

「まあ！可愛らしいこと、生きてる人形だわ」

とよろこびました。三吉は大きな聲で、

「でも王女様、私は大きな人間よ、さうされしやなやお家へ歸りたいの」

と言ひました。王様は三吉の中だのお願だの人よつて、刀やチヤ〳〵とさします。しまひには大男はワア〳〵と泣き出して降參してしまひました。王様はじめ王女やお家たちは手をうつてうれしがりました。三吉は、ここでさやうならなしをうけてまたまし。

三吉は小さ

いい國に小さい刀を一本さしてこれから武者修業に出る所でした。

「三吉、血を大切に立派な人になつてかへつておいで」

おばあさんは泣く〳〵三吉を見送りました。

三吉は逸ましく村を出て、野こえ山をこえて色々の國を通つて歩きました。

とある國のお城の所まで參りますと、父母国つたらすぐらる中にお城の石壁を小さい黒いものが下りて參ります。

——はて不思議な鏡、三吉はカッカとそれに近づいて見ると、それは驚の

ドブネズミ

です。早に驚き鏡を盗まうにかついで運んでゐるのです。

「ヤイ〳〵ドブネズミ、お前達はお城からそれを盗んで參つたな」

するとドブネズミ達は小指の三吉のちつぽけなのを見てお笑をかかへて笑ひました。

「世の中にこんなちつぽけな小僧がるのかハヽヽヽあゝ〳〵驚だ。あつち行け〳〵」

ネズミは三吉をしつぽで、バタを追ひ立てるのでした。三吉ならぬ驚目にあつたことからだつたから……。そして間なく彼女は夫の死の悲しみを胸に抱き、あらゆる悪魔と日本へ歸つて來た。懐かしい、可愛い、櫻子の居る日本へ——」

「櫻子ちやんは？」

宮殿まで出迎へに來てくれた父母の顔を見るなり、おけいは何よりも先に櫻子のことを訊いた。

「……」

愛し子

池上四郎

（大衆文藝映畫超特作品）

原阿佐緒原作、主演 佳人よ何處へ (三)

日本の若い外交官帆足秋良の死はロンドンの社交界に異常なショックを與へた。隊にロンドン在留の日本人間では、いろんな噂が飛んだ。

「あの外交官に新しい愛人が出來たのだ」

「いやさうぢやない、あの細君には結婚前から男があつたのだ」

日本にはその男の子供まで居る位なんだ。だからあの外交官はそれを苦にして ピストル自殺を企てたのさ」

「さうぢやへばあの女は大變な妖婦だぢうだ。結婚前の男といふのは何でもお子供のお坊ちやんだがたが、あのなはそのお坊ちやんから絞れるだけ絞ると、急に厭氣がさしてあの外交官と結婚したんだつていふぢやないか」

「いや今度もあの外交官に厭氣がさしたといふわけだね」

「まあ、そんなところだらう」

などと、彼女にとつてつまらない事ほ話題にもなれなかつた。然しあけみは其の名譽のために一切の言訳もしなかつた。彼女の夫帆足秋良をピストル自殺に導いた噂の眞相は、然し何故か女性の口からは遂に彼の耳へ入らなかつた。

「ね、お姉様、何故、何故櫻子を連れては來て下さらなかつたの」

おけいは攻る不安な焦慮に駆られながら、せき込んでも一度訊いた。

「……？」

然しあけみの姉は矢張りそれに答へやうとはしないで困つた様な顔を父の方へ向けた。

「あけみ」それを見ると、あけみの父はやがて厭い口を開いて言つた。

「櫻子は置なのだ」

「えゝ？」

「いや、お前は驚くのも尤もだが櫻子は三原家へ引き渡してしまつたのだ」

「さうだ。あの子の父親の許へ。その方があの子の爲にも幸福だからのう」

「いいえ、遊びます〳〵。それがあの子の爲に幸福なものですか！それに、私はあの子に逃へるのだけを樂みに、日本へ歸つて來たのに、それを、それを三原の家へ引き渡してしまふなんて！、逃して下さい、返して下さい……」

おけいは人目も憚らず号泣をもだえ泣き伏した。

（挿繪寫眞は原阿佐緒のあけみ）

新刊紹介

◇現化學研究史（日本橋丸善）本書は古代から現代までを通じて物理學、化學、天文學の三部門に分けてその各方面の發達、功労者の業績を述べてある。本書のモットーとする「難しいことを易く」の如く隅々まで平易である。（菊判三八〇頁定價一圓八〇錢）

◇改造六月號（東京市神田區神保町改造社發行）

時代の潮流に乗ることでアジョの動物を多分に掲載してゐる。殊に「アジアズム」と「門閥論」は論客日本全土を沸騰させた「アジョ運動の暗黒面を暴いて餘すところがない。今日の樂觀が故に吾々は故智（殊に初學者青年少女子供等）の啓發、偏狭を警戒して已まぬ。

◇但し吾々は徒にて唯物的功利的な機械的見地から故智に楽入しては相成らぬ。吾々は過ぎ去つた事の回顧の爲の者が故智を學ぶ事に依つて現實を救ふ途は唯故智あるのみだ。

◇父子供は一切の事を考へて人格の美風を發展的に創作したい。

◇父子供と云へば氣から稍々見下げて世間も事をしく叱り飛ばす者がある。子供程大事な者はないから氣も彼等の言動を認めて敬意を表敬しなければならぬ。

◇（婦人）「木島の婦人は觀察力がなく怒りつぽい」と或人が評した。誠しい誠化區は落ちすとも遜からずである。少くとも或一部の者には當てはまる。特に家庭の女性にあつては今少し慰しい言葉遣ひで除り氣取らずに女としての心やさを示して欲しい。

◇奢化に堕落ならから吾々の中で唯自己の打算のみに汲々として他人の利害得失を顧みない者が少くない。吾々は社會進化の觀念を朝かに心に何時なんの時でも自分を犠牲に供する意の用意があるやうにしやうではないか。

◇政府、現代の要請に取つても最も緊要な事があるとすれば社會育の問題である。試みに我國民の現實生活を見よ。彼等は如何に無智と悲慘な境遇に在る事上。彼等は世間の人間としては殆りに不過な狀態にある。其他個利に多くの者が消費を通り越して貰むべき非科學的な迷信に身をやつして居る事か。彼等を救ふ途は唯教育あるのみだ。彼等が故に吾々は教育（殊に初學者青年少女子供等）の積極的偏狭を警戒して已まぬ

◇但し吾々は徒にて唯物的功利的な機械的見地から故智に楽入しては相成らぬ。吾々は過ぎ去つた事の回顧の爲の者が故智を學ぶ事に依つて現實を救ふ途は唯故智あるのみだ。

◇父子供は一切の事を考へて人格の美風を發展的に創作したい。

◇父子供と云へば氣から稍々見下げて世間も事をしく叱り飛ばす者がある。子供程大事な者はないから氣も彼等の言動を認めて敬意を表敬しなければならぬ。

◇（婦人）「木島の婦人は觀察力がなく怒りつぽい」と或人が評した。誠しい誠化區は落ちすとも遜からずである。少くとも或一部の者には當てはまる。特に家庭の女性にあつては今少し慰しい言葉遣ひで除り氣取らずに女としての心やさを示して欲しい。

◇奢化に堕落ならから吾々の中で唯自己の打算のみに汲々として他人の利害得失を顧みない者が少くない。吾々は社會進化の觀念を朝かに心に何時なんの時でも自分を犠牲に供する意の用意があるやうにしやうではないか。

◇政府、現代の要請に取つても最も緊要な事があるとすれば社會育の問題である。試みに我國民の現實生活を見よ。彼等は如何に無智と悲慘な境遇に在る事上。彼等は世間の人間としては殆りに不過な狀態にある。其他個利に多くの者が消費を通り越して貰むべき非科學的な迷信に身をやつして居る事か。彼等を救ふ途は唯故智あるのみだ。彼等が故に吾々は故智

漢文 臺灣日日新報 (四) 昭和七年六月十五日 (水曜日) 第一萬一千五百六十號 (第三種郵便物認可)

政府不輕承認滿洲國

政民共同提案原則無異議

內田總裁卽時斷行態度且變

十四日東京電。滿洲國承認問題。俄然表現。衆議院。十四日。政民共同提案且緊急決議促進承認滿洲國之舉。外務陸軍兩當局。最高首腦部。數次交換意見。務速承認滿洲國。原則同。無異論。然卽速正式承認。是所反對。府部內最高方針。決定自重愼慮。對衆議院決議。政府如何指置。所極注目。政府自重要旨如左。

一、滿洲國成立經過。國家實質尙有所缺。

一、我對滿政策之根幹。在四項。政治之統一。其他根本問題之確立。日滿關係上。不可不期將來無礙根。

一、料英國等。照九國條約等。反對抗議。說事前外。交措置。尙未完全。此際自行卽速承認。徒招外交紛紜。別無實效。

一、聯盟調查委員。滿洲國調查報告。歸趨未悉。九月國際聯盟。如何紛糾。實難逆料。斯時示以日滿協力之事實。頗然正式承認未遲。

政府此自重論。內田總裁。亦漸傾聽。其就外相之時。向所持滿洲國卽時承認論。想不急展開。衆議院決議承認之件。政府無所異議。且一應無之云。

又菱沼羅東郡守。四月轉任新竹州竹東郡守。後任梅谷郡守。赤受前郡守所託。封鹿埔方面土地所有者。數次對郡守處陳情。據聞全島爲督府懸案之埤圳。右一應無之云。

三十餘處。就中以羅東及新竹爲第一工事。現調完中。大抵本月末日。該工事內分之一。可得竣表。故於六十餘處同。

桃園街 籌設水道 工費十八萬圓

桃園街于年度內。籌設水道。引水入口。敷設在消東北方。約二千四百間。卽以龜山庄圖埔坑。爲水源。總工費約十八萬圓。其中三分之一。由國庫補助。三分之一。由州費補助。其三分之一。由州費補助。其餘街費。不日提出補助申請雲。

鹿芥燒却爐 次第興工 大安十四日

本年臺北市內。蒼蠅極多。良由衛生明瞭。大安。大龍峒三處。鹿芥堆。每日棄置。鹿芥二萬六千箇。景溫暖。蠅類最易繁殖。就中有明町。鹿芥場。與市街密通。市內人家極生不良。如龍山公學校。仁濟院各處。蒼蠅尤多。有時臭味撲鼻。

民政有志議安達氏復黨

勢已絕望謀組新黨

十四日東京電。安達謙藏氏復黨問題所關。民政黨有志代議士會。十三日午後六時。開於九內會館。出席者二十數名。推小池仁郎氏爲座長。各自交換意見。且將所約善裁如左。

一、吾人纔以脫黨賭之。亦努力實現。

一、暫時靜觀形勢之推移。

一、吾人以復黨必要之信念。依然不變。仰爲幹部所諒悉。

卽時。末如之何。

議論百出。無所歸著。十時半散會。強硬論者之意。復黨慾絕望。擬至於除名脫黨。亦欲運動樹立新黨。今後之勢。人所注目云。

內田伯就外相任

首相明日決意面懇

十三日東京電。齋藤首相。決意促進內閣總裁就任外相。訂十五日。舍內閣總裁。懇之承諾。卽日發請準行親任式云。

八田副總裁陞總裁

陸軍部內一部之希望

十四日東京電。內閣總裁。外相就任之時。後任鈴衛。荒木陸相之意。只欲希望國家太享有恒久性之人物。不別具體指名。唯部內一部間係近將來滿鐵爲企業會社。不欲以政界所謂大人物爲總裁。以八田副總裁任足云。

入江長官

任日銀幹事先聲

十四日東京電。帝室會計審查局長官入江貫一氏。訂來八月日本銀行株主總會。就當內省一邊幹事之任期滿五日頃云。

十九國委員

十五日集歟

十三日漆原電。十九國臨時委員會。招集日程。似訂

蔣使會要人

議對日滿

十三日南京電。駐日公使蔣作賓氏。十三日朝來京。會汪兆銘。顧維鈞。羅文幹諸氏等。協議顧氏日本之行。對日滿蒙問題云。

羅東郡荒地

灌溉工事

陳情經過續聞

羅東郡下荒地。千二百餘甲。卽冬山庄四埔六百餘甲。及三星庄大埔二百餘甲。現乏水耕田。而土地肥沃。若設埤圳。則年可收粟五十餘萬石。其金額約五十萬圓。事經橫山。楊松及菱沼歷任。羅東郡守。幹次。調查水源。

中外要電

民政議承認問題

滿洲國承認問題所關。民政黨有志代議士會。幾度協議云。

民政亦議救農村

農村救濟。決議案問題所關。民政黨。十三日。接政友聯盟。而後協議。開催臨時。委員長非常重要。委員會。委員長非常重要。委員會。委員長非常重要。委員會。

協議報告紀草地

聯盟調查團。爲決最終報告書起草地。十三日。

招商局提二千萬

招商局提出二千萬決議案云。

南部久雨

蓬萊暴騰

當局蓬萊米。推仰。高雄州下。屏東。鳳山東港三郡。出米而已。近因連日驟雨。意想外有增收。

桃園街 于年度內。籌設水道。引水入口。敷設在消東北方。約二千四百間。卽以龜山庄圖埔坑。爲水源。總工費約十八萬圓。其中三分之一。由國庫補助。三分之一。由州費補助。其三分之一。由州費補助。其餘街費。不日提出補助申請雲。

本年臺北市內。蒼蠅極多。良由衛生明瞭。大安。大龍峒三處。鹿芥堆。每日棄置。鹿芥二萬六千箇。景溫暖。蠅類最易繁殖。就中有明町。鹿芥場。與市街密通。市內人家極生不良。如龍山公學校。仁濟院各處。蒼蠅尤多。有時臭味撲鼻。

電力料減下問題

實業會具體調查後

正式對會社交涉

臺北實業會。要望。臺灣電力料。減下。頒換起各方面注意。對此電力會社。因鑑于官社營業狀態。外債元利支出。漸次增加。及應日月潭水電完成後之電力消化狀態。非不欲減價。但事情不能。卽時斷行。願

料全減下原有此意

安達電力理事談

臺北實業會。要望。臺灣電力料。減下。頒換起各方面注意。對此電力會社。因鑑于官社營業狀態。外債元利支出。漸次增加。及應日月潭水電完成後之電力消化狀態。非不欲減價。但事情不能。卽時斷行。願

至昭和六年一月。中督府派當田技手外五名。於霄地試掘。井戶四處。各深二十餘尺。求得湧水。實計畫云。

入江長官

任日銀幹事先聲

十四日東京電。帝室會計審查局長官入江貫一氏。訂來八月日本銀行株主總會。就當內省一邊幹事之任期滿五日頃云。

十九國委員

十五日集歟

十三日漆原電。十九國臨時委員會。招集日程。似訂

蔣使會要人

議對日滿

十三日南京電。駐日公使蔣作賓氏。十三日朝來京。會汪兆銘。顧維鈞。羅文幹諸氏等。協議顧氏日本之行。對日滿蒙問題云。

羅東郡荒地

灌溉工事

陳情經過續聞

羅東郡下荒地。千二百餘甲。卽冬山庄四埔六百餘甲。及三星庄大埔二百餘甲。現乏水耕田。而土地肥沃。若設埤圳。則年可收粟五十餘萬石。其金額約五十萬圓。事經橫山。楊松及菱沼歷任。羅東郡守。幹次。調查水源。

中外要電

民政議承認問題

滿洲國承認問題所關。民政黨有志代議士會。幾度協議云。

民政亦議救農村

農村救濟。決議案問題所關。民政黨。十三日。接政友聯盟。而後協議。開催臨時。委員長非常重要。委員會。委員長非常重要。委員會。

協議報告紀草地

聯盟調查團。爲決最終報告書起草地。十三日。

招商局提二千萬

招商局提出二千萬決議案云。

國府對俄國交消極

莫氏赴俄在察政情

十三日南京電。華俄國交所關。中央態度。蔣作賓氏。十三日朝來京。會汪兆銘。顧維鈞。羅文幹諸氏等。協議顧氏日本之行。對日滿蒙問題云。

鹿芥燒却爐

次第興工

大安十四日

本年臺北市內。蒼蠅極多。良由衛生明瞭。大安。大龍峒三處。鹿芥堆。每日棄置。鹿芥二萬六千箇。景溫暖。蠅類最易繁殖。就中有明町。鹿芥場。與市街密通。市內人家極生不良。如龍山公學校。仁濟院各處。蒼蠅尤多。有時臭味撲鼻。

驅除介殼蟲

配瓢蟲

比用藥較經濟

臺南州。農事試驗場。爲驅除果樹及蔬菜。有其他之害蟲。卽介殼蟲。蚜對中

嘉南大圳分線氾濫

浸水家屋六十五戶

受炊飯救助者百名

臺南州下。降日豪雨。州下各地。降即有多少被害。而嘉南大圳沿線之新化。部新市人烟稠密。分線氾濫。爲是新化。部。及虎尾。斗六。溪湖。二林。北斗。員林。埔里社。等。浸水深二尺。家屋被浸六十五戶。

十三日朝。對要受救助之戶數。有張水彩勢。當局主

新營日河

水道敷設

向州陳情補助

新營部。鹽水街。新營庄。白河庄之水道敷設問題。自數年以來。懸案之要案。總督府。曾按四次調查。其中州費及國庫補助。三分之一。而關係各地方民。負擔三分之二。而關係地方民。負擔三分之一。伊藤鹽水街長。陳西工會長。沈新營庄長。何茄工會長。林白河庄長。外十餘名。到臺南州訪問。今山知事。川村內務部長。細井地方課長。陳情請補助。及早期實施等事。臺知事熱心賛成。一同諒是歸來。木年春。總督官地調查已畢。日下設計中。將來諒得副地方民之熱望云。

新竹內媽祖

繞境註盛

舊稻新竹天后宮媽祖。新安繞境。自達日降。雨故。展期於十三日過午四十分。出發。各巡加陣頭。在西門廟口取齊後。依路間順序巡繞。至下午六時許廟。是日天候晴凉。遠近觀衆。頗多。管內太平町二丁目派出所。外十八處。第一二回施行。

新營日河

水道敷設

向州陳情補助

新營部。鹽水街。新營庄。白河庄之水道敷設問題。自數年以來。懸案之要案。總督府。曾按四次調查。其中州費及國庫補助。三分之一。而關係各地方民。負擔三分之二。伊藤鹽水街長。陳西工會長。沈新營庄長。何茄工會長。林白河庄長。外十餘名。到臺南州訪問。今山知事。川村內務部長。細井地方課長。陳情請補助。及早期實施等事。臺知事熱心賛成。一同諒是歸來。木年春。總督官地調查已畢。日下設計中。將來諒得副地方民之熱望云。

新竹內媽祖

繞境註盛

舊稻新竹天后宮媽祖。新安繞境。自達日降。雨故。展期於十三日過午四十分。出發。各巡加陣頭。在西門廟口取齊後。依路間順序巡繞。至下午六時許廟。是日天候晴凉。遠近觀衆。頗多。管內太平町二丁目派出所。外十八處。第一二回施行。

腸疫注射

第二回施行

臺北市衛生課。爲防遏腸疫後。五月間已實行配布內服藥於市民一部分。本月六日起。至三十日之間。又施預防注射。業設注射場。卽市衛生課。南門。西門。永樂各市場事務所。外此南。署管內老松公學校。竹屋藤。原諸酒。卽四月。無異論。然卽速正式承認。是所反對。府部內最高方針。決定自重愼慮。對衆議院決議。政府如何指置。所極注目。政府自重要旨如左。

一、滿洲國成立經過。國家實質尙有所缺。

一、我對滿政策之根幹。在四項。政治之統一。其他根本問題之確立。日滿關係上。不可不期將來無礙根。

一、料英國等。照九國條約等。反對抗議。說事前外。交措置。尙未完全。此際自行卽速承認。徒招外交紛紜。別無實效。

一、聯盟調查委員。滿洲國調查報告。歸趨未悉。九月國際聯盟。如何紛糾。實難逆料。斯時示以日滿協力之事實。頗然正式承認未遲。

政府此自重論。內田總裁。亦漸傾聽。其就外相之時。向所持滿洲國卽時承認論。想不急展開。衆議院決議承認之件。政府無所異議。且一應無之云。

又菱沼羅東郡守。四月轉任新竹州竹東郡守。後任梅谷郡守。赤受前郡守所託。封鹿埔方面土地所有者。數次對郡守處陳情。據聞全島爲督府懸案之埤圳。右一應無之云。

三十餘處。就中以羅東及新竹爲第一工事。現調完中。大抵本月末日。該工事內分之一。可得竣表。故於六十餘處同。

桃園街 籌設水道 工費十八萬圓

桃園街于年度內。籌設水道。引水入口。敷設在消東北方。約二千四百間。卽以龜山庄圖埔坑。爲水源。總工費約十八萬圓。其中三分之一。由國庫補助。三分之一。由州費補助。其三分之一。由州費補助。其餘街費。不日提出補助申請雲。

鹿芥燒却爐

次第興工

大安十四日

本年臺北市內。蒼蠅極多。良由衛生明瞭。大安。大龍峒三處。鹿芥堆。每日棄置。鹿芥二萬六千箇。景溫暖。蠅類最易繁殖。就中有明町。鹿芥場。與市街密通。市內人家極生不良。如龍山公學校。仁濟院各處。蒼蠅尤多。有時臭味撲鼻。

驅除介殼蟲

配瓢蟲

比用藥較經濟

臺南州。農事試驗場。爲驅除果樹及蔬菜。有其他之害蟲。卽介殼蟲。蚜對中

嘉南大圳分線氾濫

浸水家屋六十五戶

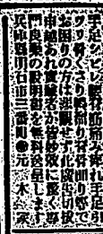
受炊飯救助者百名

臺南州下。降日豪雨。州下各地。降即有多少被害。而嘉南大圳沿線之新化。部新市人烟稠密。分線氾濫。爲是新化。部。及虎尾。斗六。溪湖。二林。北斗。員林。埔里社。等。浸水深二尺。家屋被浸六十五戶。

十三日朝。對要受救助之戶數。有張水彩勢。當局主

臺灣日日新報

本日夕刊二頁
若槻内閣人物評
野副北支新任
川北支新任
新日本評



せきつう
神経痛・リウマチ

水壓療眼器

トラホーム
乱視
近眼
遠視
老眼

デシン（後藤の）

台湾總督府專賣局方劑
御常備は今！
一服のデシン
大患を防ぐ!!
内務省指定消毒藥
朝鮮總督府法定消毒藥
△知名藥店に販賣す
△説明書進呈す

●齒痛に頭痛はガオガンで直る●

ツバメ石鹸

日本盛

理想的の
招！
高級酒

二リットル詰　金四
一リットル詰　金二圓二十錢

西宮酒造株式會社

スピルカ

滋強飲料

カルピスはカルシウム、ビタミン、乳酸、蛋白質、葡萄糖其他諸種の榮類を主成分とする滋強飲料です。梅雨期の整腸に、夏負けの予防に、暴飲のツヲリに、常に御愛飲下さい。同時に、夏季絶好の涼味です。

店舗・店員料食・店舗　所賣販

自動車株式會社

酒葡萄の獎推士博五十

シイワトーポ玉赤

！せ召を玉赤は方いたり肥

517

品產國良優最・定選省工商

粉白トール

レレレレレレ
ーーーーーー
トトトトトト
固煉白粉
水煉粉白色
五色粉白粉と肌色
白粉白色と肌色
白粉白色と肌色
白粉白色と肌色

艶やかな令嬢化粧も
清らかな奥様化粧も

厚くお塗にならずとも引立つ白さ麗しさです

レート白粉の眞美式お化粧ですっきりお出來になるのです。

つけた白さが生地の美しさとなる——

店商平賀扇平：京東

健康の一線第を守る此の齒磨

ライオン齒粉

香味
効力
使ひ心地
申分なし

株式會社　二十四銀行
株式會社　名義書換停止公告
株式會社　名義書換停止公告
株式會社　名義書換停止公告
株式會社　名義書換停止公告
株式會社　名義書換停止公告
株式會社　名義書換停止公告
株式會社　名義書換停止公告

大阪商船

三井船舶

日本郵船

近海郵船

會社御用命は淺アサコ

(二)　昭和七年六月十五日　(水曜日)　東京日日新聞　第一万一千五百六十號　(第三種郵便物認可)

最終日の貴衆兩院
滿洲國承認決議案
拍手裡に滿場一致可決
衆議院本會議

砂糖生産費低減と輸出
いま一息といふ大切な時機

一、昭和七年六月の砂糖界は、過剰の大増産を告げ分蜜糖約一千六百二十萬斤、含蜜糖約一千二百五十萬斤、計二千六百五十萬斤といふ驚異的豊作を作つた、之を前期に比すれば實に三百二十億萬斤の増加で、之を消費するに過剰の感ある程である、過剰の原因は、一面消費増加の傾向もあるが、一面内地糖業者は、一層消費増加の傾向もあるが、一面内地糖業者は、一層消費増加の傾向もあるが、一面内地糖業者は、一層

土地拂下詐欺事件
臺南州廳にも飛火
被害額六千餘圓に達し
捜査本格的となる

【臺南電話】臺南市有地拂下げを機に數多の詐欺團を跳いた元臺南州屬王譲祉は十一日山下臺南刑務所長の命により保釋出所となつたので十四日朝來臺取調べに移つたが、本格的な取調べに移つたのは之れが始めてゞ被害金額は六千圓以上に上るらしい。王譲祉の右腕として暗躍中の本島人某も引續き取調べられつゝあるが、その内には現に臺南州廳勤務中の本島人某も加はつてゐるらしく

ラヂオ小欄

今日の番組

——J・F・A・K——

六月十五日(水)

午前の部

【一・〇〇】放送局調整ニュース
【一・〇二】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【一・一五】正午の時報（臺北のみ）
【一・一六】天氣豫報（臺北のみ）
【一・一七】株式市況（臺北のみ）
【一・二〇】農事講話（臺北のみ）
【一・三〇】休憩
【一・四〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【二・〇〇】午後の部に續く

午後の部

【三・〇〇】今日の家庭料理（臺北のみ）
【三・一〇】婦人と子供（臺北のみ）
【三・二〇】ハーモニカ獨奏（臺北のみ）
【三・三〇】子供の時間（臺北のみ）
【四・〇〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【四・二〇】ピアノ獨奏（臺北のみ）
【四・三〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【四・四〇】ハーモニカ獨奏（臺北のみ）
【四・五〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【五・〇〇】放送局調整ニュース
【五・〇一】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【五・二〇】ピアノ獨奏（臺北のみ）
【五・三〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【五・四〇】ハーモニカ獨奏（臺北のみ）
【五・五〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【六・〇〇】放送局調整ニュース
【六・〇一】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【六・二〇】ピアノ獨奏（臺北のみ）
【六・三〇】子供の時間（臺北のみ）
【六・四〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【六・五〇】ハーモニカ獨奏（臺北のみ）
【七・〇〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【七・二〇】ピアノ獨奏（臺北のみ）
【七・三〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【七・四〇】ハーモニカ獨奏（臺北のみ）
【七・五〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【八・〇〇】放送局調整ニュース
【八・〇一】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【八・二〇】ピアノ獨奏（臺北のみ）
【八・三〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【八・四〇】ハーモニカ獨奏（臺北のみ）
【八・五〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【九・〇〇】放送局調整ニュース
【九・〇一】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【九・二〇】ピアノ獨奏（臺北のみ）
【九・三〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【九・四〇】ハーモニカ獨奏（臺北のみ）
【九・五〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【十・〇〇】放送局調整ニュース
【十・〇一】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【十・二〇】ピアノ獨奏（臺北のみ）
【十・三〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【十・四〇】ハーモニカ獨奏（臺北のみ）
【十・五〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【十一・〇〇】放送局調整ニュース
【十一・〇一】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【十一・二〇】ピアノ獨奏（臺北のみ）
【十一・三〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【十一・四〇】ハーモニカ獨奏（臺北のみ）
【十一・五〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【十二・〇〇】放送局調整ニュース
【十二・〇一】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【十二・二〇】ピアノ獨奏（臺北のみ）
【十二・三〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【十二・四〇】ハーモニカ獨奏（臺北のみ）
【十二・五〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）

夜間の部

【七・〇〇】講演「神からの聲」伊東伊代吉
【七・二〇】慰令嬢「行け土蛍」住岡太郎、繪獨
【七・四〇】ハーモニカ獨奏（臺北のみ）
【七・五〇】ハーモニカ獨奏（臺北のみ）
【八・〇〇】放送局調整ニュース（臺北及び放送局調整ニュースのみ）
【八・二〇】人情噺「妹の婿本編」鈴木主水
【九・〇〇】ハーモニカ獨奏（臺北のみ）
【九・二〇】ピアノ獨奏（臺北のみ）
【九・三〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【九・四〇】ハーモニカ獨奏（臺北のみ）
【九・五〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【十・〇〇】放送局調整ニュース（臺北及び放送局調整ニュースのみ）
【十・一〇】ハーモニカ獨奏（臺北のみ）
【十・二〇】ピアノ獨奏（臺北のみ）
【十・三〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【十・四〇】ハーモニカ獨奏（臺北のみ）
【十・五〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【十一・〇〇】放送局調整ニュース（臺北及び放送局調整ニュースのみ）
【十一・一〇】ハーモニカ獨奏（臺北のみ）
【十一・二〇】ピアノ獨奏（臺北のみ）
【十一・三〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【十一・四〇】ハーモニカ獨奏（臺北のみ）
【十一・五〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【十二・〇〇】放送局調整ニュース（臺北及び放送局調整ニュースのみ）
【十二・一〇】ハーモニカ獨奏（臺北のみ）
【十二・二〇】ピアノ獨奏（臺北のみ）
【十二・三〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）
【十二・四〇】ハーモニカ獨奏（臺北のみ）
【十二・五〇】蓄音機樂時間（レコード演奏）（臺北のみ）

談洲樓燕枝の「連續講談」

（臺北）

（ミツワ石鹸丸見屋提供）

午後九時より放送開始

「實錄白子屋政談」（第一席）

人情噺（臺北）

實說　鈴木主水

（ミツワ石鹸、サーワ白粉本舖提供）

【午後八時三十分】談洲樓燕枝

男前時代の國領、大正時代の國右とこの一代の名人なき今日に於ては人氣絶頂の第一人者は談洲樓燕枝で

ある、今晩から連續講談を放送するに當つて之れ以上の適任者はない、其の上彼は本誌讀者に對しても特別の關係があるので、本誌としては此の人氣者を放送するが今晩が第一番である、

臺北放送局では從來屢〻企畫した、女性に深い人の興味に努力して來たが、いよいよ此の度から月間一度の連續講談を放送する事となつて、既に豫報の如く、談洲樓燕枝を招聘する事となつて、既に豫報の如く、談洲樓燕枝を招聘する事となつて、既に豫報の如く、談洲樓燕枝を招聘

滿洲中央銀行

愈々十五日から開店

【新京十三日發電通】滿洲中央銀行は愈々六月十五日創立開店に決した總裁に元吉林財政廳長厚氏副總裁は元臺銀理事山成喬六氏である

滿洲銀行要職へ

臺銀から二名榮轉

高木、竹本兩課長拔擢さる

高木錬二君

竹本節藏君

【臺北發】臺灣銀行より滿洲國中央銀行へ招聘されてゆく人々は既報の如く、豫定的に東京頭取勸務の形式をとつた國庫支店長の鈴木總助君、大連主管代理の長谷川長治君、其他本店發送課主任の竹本發行課長が滿洲國中央銀行の要職に轉出することとなつた、高木錬二命東京頭取席勸務　臺北發送課長　竹本節藏　同　命滿洲銀行支配人？へ　高木錬二君

高木氏は大正二年から創業第十九年まで臺銀調査課長の重職にあつた實務の一人、日八丁手八丁といふ才氣煥發の勤務、こんどの滿洲入りは山成氏にも知られ特に同氏の懇請にあつて新銀行の大事獻立一切を引受けてゐる吉野君（元臺銀總務課調査課長から代議士にも出た人）とはプライベイトに親しき關係もあるとかで、新銀行の支配人或は最重要なる支店長の選擧が終ろうけてゐるらしく、今日までどちらかといふと調査畑長といふ地味な椅子に腰肉をかこつてゐた關係として俄かに一躍來榮、思ひ切り腕を伸ばせるようこびの新生入りであらう、往訪の記者に對し意外少ない饒舌の色見せて

深酸昨夜のこと、滿洲へ行かんかとの命令で全く何が何だか判らぬといふ所行く先の仕事は何をやらされるか、いづれ今やつてるやうなことではあるまいかこちらには丁度九年間居介になつた、滿洲は未知の世界開拓が成れば二十一日頃立ちたいと思つてゐます云々（當局は調査課長席での高木君）

家の整理には新總裁といふことが必要ですが、新總裁としてはそれより張作霖以來の如何がはしい登錄券が相當に整理回收すべきかがとても困難な問題だらうと思ひますがどういふことになりますか十八日頃大體、朝來發ちたく二人に立ちたいと思つてゐます云々

北滿大豆は

作付四割減見込

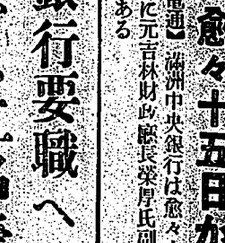
豆粕は先高人氣

北滿の大豆作は事變に引續き匪賊の橫行に惱され作付約四割減を豫想されその收穫大豆は先高見越しの買氣強く油房が北の高い大豆で豆粕の供給減の關係から必然一割位無くては納まるまいと玄人筋は觀測してゐる、尚昨今の豆粕は六月積其後神戸二、四二六噸を發送みである

神戸米穀市場

十三日設立認可さる

【東京十四日發電通】商工省では十三日附神戸米穀市場設立認可の正式指令を發した



滿洲銀行へ拔擢された兩氏

（滿洲國中央銀行幹部社員としてゆく本店營業部の大島出納主任（上）と發行課の朝來審議主任（下）

雨續きで出廻不足

蓬萊期近物暴騰す

一躍七圓七十錢臺となり珍らしい大逆鞘

天候　來る二十日迄に幾度通り多いが、若し二十日迄に幾度通り多雨が出來ぬと果實には六月積のハタ實生が四萬もあるからこれは前れ上げとなるか或は解合ふより外なしと此の果實の供給難關が成れば二十一日頃立ちたいと思つてゐます云々（當局は調査課長席での高木君）

波瀾　を孕んで暴らず貿易共營總の相場があると云つて貿方共に買ひ氣配もあるが買方、賣方共に自重し敢て活潑の氣配なく、昨日の取組は六萬九千俵、今日は朝來の賣方殺到を見越して前日の賣方買戻しを見越して前日の賣方買戻しを見越して前日の賣方買戻しを

(第三種郵便物認可)　第一万一千五百六十號　臺灣日日新報　(水曜日)　昭和七年六月十五日　(六)

曙光

(19)

生方敏郎作
中野修二畫

一輪の花 (四)

一本しかない地面の花は、可愛に咲いてゐた。可愛には愛がうつた。可愛の花がほしいなあ」

「あの花、ほしいなあ」と、田鶴子がいつた。たとひ飯粒にもせよ、あの黒つぽい土の中から、可愛らしい花を咲かせるのは、飯にないやうに感じられて、杉緑は否笑した。

「わたしもほしいわ。」

と、登世子も、花に眼をつけた。

「取ってきてあげませうか」

と、春田がいつた。

「ちやうだい」

と、町子は、笑つて、春より先にいつた。

「あたしに。」

と、田鶴子と登世子が、殆どいつた。春田は、まつたく困つてしまつた。

「貴さん、あなたにはしくないのですか？」

と、吉見が、伊久子夫人に訊いた。夫人は微しく微笑して。

「それもほしいけれど、取るに行くのは、大變でせう。」

「なに、わけはありません。可愛には、かう見えても水分の豊手ですからねえ」

「おい、吉見、土左衛門と渾名するのは、止してくれ。」

と、大林がひやかした。

その間に、春田は兵児帯をといた。解いた兵児帯を町子が持つた姿勢も眺めるのを手掛つて、町子はそれをも揃へた。

それを見ると、吉見は。

「先生、剛情しませうか？」

と、いひつつ、春田の傍まで歩み寄るのをみて、吉見も歩調をとゐた。

第三の調の春田と、色の黒い吉見とが、同時にざんぶと飛び込んだ。

「先生、しつかり！」

「吉見、それ、〳〵！」

選手のさばきが後につゐて、女性たちも歩色で應援した。

岸まで吉見の方が數歩だつたが、何うしたものか立つはつひに振には足をすべらした。春田は、先に河岸に立ち、花は後の手折れた。

數の若い男女は、勢ひし、かうさうさに、一人ぼつ。

田鶴子は、一ばん悲しさうだつた。肥滿した體を諮かに揺してもらひたかつた。

修二畫

ゴドモノ時間

▼放送【午後六時三十分】(臺北)
一、管絃樂まつりの歌
二、お大師樣
吉川雅一さん(ピッポ木スミ子さん外五名の方の獨唱です(數詞略)
三、雛の花
醫生雪枝さん外四名の方の獨唱です(數詞略)
四、こんこん小狐
西田勘治氏作詞中山晉平氏作曲のもので獨唱は古賀久子さん外五名の方々
こんこん小狐　お寺うら
いそぎの野道は　お寺うら
町の油屋で油を買ひました
(以下略)
五、いとは歌
小池宇さん月影節子さん外六名の方の獨唱で弘法大師の作られたいろは歌です
色は匂へど　散りぬるを
わが世誰れぞ　常ならん
うゐの奥山　けふ越えて
あさき夢みじ　みじもせず
六、まねきの御手
三宅福子さん相澤登美枝さんの二人の獨唱です(數詞略)
七、夜來
みんなで獨唱します。弘法寺日曜學校の振歌です(數詞略)
▼童謠とお琴　猪木明友社中
獨唱の猪木明友氏の四下の少さい可愛いお饒さん殿の出演です。歌は誘めの五つが「雪雄達氏の作曲、最後の「雪雄の招色」は大道かをる氏の作詞で猪木明友氏の作曲です
一、夜の大工さん
路殿しげる氏の作詞、歌ふのは福井敦子さん
夜の大工さん　何處でる
雨の降つてる　くらい晩で
わびしやトン〳〵つちの音
丸い少さな　金槌時計の
きれいなつちだトン〳〵〳〵
(以下略)
二、チョコレート
歌ふ人は前と同じ、お琴の伴奏も前と同猪木明友氏、作詞も同じぎんぎらぎんの銀紙を
そうつと開けると出て來るは
焦茶の色のチョコレート
にかそな色じたチョコレート
(以下略)
三、六段
猪木明友氏が獨奏されます
四、せきれい
歌は福井敦子さん小出文子さん

弘法寺日曜學校兒童

右田朝子さん宇野順子さんで北原白秋氏の作詞
山川のたきつせの
せのせの岩にいる鳥の
鳥をふる鳥のせきいの
ふとその岩をとびさんぬ
(以下略)
五、ひばり
作詞は西條八十氏、歌ふのは小出文子さん右田朝子さん宇野順子さん、お琴は福井敦子さんと猪木明友氏で(數詞略)
六、霞棲の景色
出演者全部揃つて獨唱します
霞棲青なる西子湖
赤いジャンクの帆にかすむ
花の盛りの相思鳥
たわれ遊ぶ森の蔭
げに天然のパラダイス〳〵

講演 (臺北)

【午後七時より】
▼神なからの道　伊東伊代吉
文學博士加藤弘之翁氏著の「本邦生存競爭論」によつて、日本人が國民の間に其の道を維ぬ「國體觀念」を受けたる生命の觀察を述べ、其の本質は國體觀念と異なり點を說き、國體觀念の發展は神と崇祖とに歸一する所以を說き、日本民族の理想は五常に神を認め過ち改善を崇敬し最大善に合一し國内總動員一の神に陰一して戰本反省を與へ國體觀念の徹底としてゐるこの講演は前からの多數の知らぐであるが話は一神教であるといふ點を述べられる

家庭料理獻立

【午前九時三十分】(臺北)
臺北第三高等女學校
解說　山岸十名子
今日は山岸十名子氏が自身で料理法を實演される
▼ポーク・グラタン
材料(六人前)　豚の挽肉百匁、卵四個、玉葱大一個、牛乳小匙二、胡椒小匙一、メリケン粉大匙山盛一
▼ブラウン・ソース
材料　バター大匙二、メリケン粉大匙二、スープ・ストック一合、塩、胡椒少量
▼グリンピース・スープ
材料　青豌豆三十匁、牛乳一合、スープ・ストック二合、バター、茶匙一、メリケン粉茶匙一

書間娯樂時間

【午後零時二十分より】(臺北のみ)

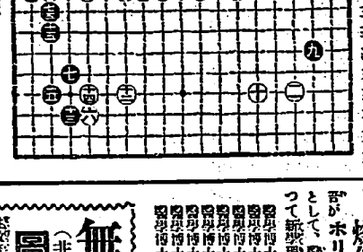
二曲合奏
『吾妻獅子』
即及答　今井慶松
同　今井敬子
三絃中能島欣一
尺八關和童

掛合噺

【午後一時三十分より】(臺北)
口演吉氏の作曲になる重厚『國旗行進曲』この二つは東宮海軍重樂隊の演奏を指揮は關谷多喜吉氏である。その他のレコード數十時間に亘演したものばかりである
▼洋行土産　桂國太郎　卿國鹿

婦人棋客と臺北有段者對局

【第一局の四】
互先　三段　竹田以都女史
五出先番　三段　稻澤一朗氏



身の上相談

相談相手もなく惡業に陷る煩悶で御相談になりたい方は手紙や面會はお斷りします

夫との同棲が嫌て逃げ出す

私は二十四歳の人妻であります丁度三年前内外の紹介で後に入りましたが、その内情、それが餘りに自分と違ひすぎるのに驚いて、ほんの一時の氣の迷ひから、ついふらふらと家を出てしまひました。

妻は夫と同棲の義務がある

一旦正式に結婚をした以上、夫の家と、夫とは離れて暮すことは出來ません。

夫の同棲を拒絶する

私は二十五歳の女です。

家出した妻を連戻すには

私は二十五歳の男です。

妻の不貞を發見した夫

私は二十五歳の男です。

夫と別れて再婚したい

私は二十五歳の女です。

夫の不貞を發見した妻

私は二十五歳の女です。

夫の不貞を發見した妻

私は二十五歳の女です。

夫の不貞を發見した妻

取壊しの悲運を免かれ 舊廳舍は移轉改築か

現廳舍と列べて……

新公園への移轉には市が反對

乘船し 親察して 雨中の檢閲

安保大將が

理蕃の根本策は 生活安定が第一義

北部蕃界初巡視の 友部警務局長語る

變な對照だが 面白味もある

保存派の井手技師談

新公園の將來を 考へて反對

西澤臺北市尹談

朗らかに明るい 新臺灣を建設

神戸出帆を前に 中川總督の船中談

本島官界の人事は 先づ安泰だらう

來臺した南前總督の腹心 野村幸助氏の時局觀

滿洲事變での 日本の處置は正當

滿洲を視察して來臺した 佛國大使館附武官の談

媒介體が判らぬ

謎の鶏の傳染病について 小倉博士は語る

陳調元の 態度怪し

部下が反蔣運動

學生、兵隊さん バス五錢となる

市常置員會で

我陸上競技代表 權君が重傷

警官に暴行され

霖雨で變調子 エロ二事件

城隍廟祭で バス臨時運轉

十五日から十八日まで

顧維鈞飛行機 で九江に向ふ

二對零で 旭勝つ

對建成野球戰

千葉〇〇〇隊 チチハル著

反亂軍 一二道溝襲撃

小泉校隊 訥河縣入城

新公園が 内務局側 では一部を 保存する 高板塀を 以て囲繞 高砂町 方面へ 移轉 保存方法 行き詰つてる 保存する 現廳舍の 保存 ならば 新公園の 南端に 移轉 保存 する 場合 新公園 の 移轉 に 反對 する 理由 新公園 の 面積 が 狭隘 に 過ぎる 新公園 の 南端 に 移轉 する 場合 新公園 の 南端 に 移轉 する 場合 新公園 の 南端 に 移轉 する 場合

(八) 昭和七年六月十五日 臺灣日日新報 第一萬一千五百六十號 (第三種郵便物認可)

漢文臺灣日日新報

(水曜日)

上院重要法案可決

十四日東京電。最終日貴族院本會議。十四日午前十時十一分開議。即入日程一、爲補償柳河軌道株式會社所屬軌道公債發行所關法律案。委員長德川頼貞侯報告。可決確定。二、兌換銀行條例中改正法律案。三、日本銀行納付金法案。四、日本銀行參與會法案。五、資本逃避防止法案。四案一括爲議題。委員長林博太郎伯。報告附希望決議而可決。即可決確定。六、昭和七年法律第一號中改正法律案（滿洲事件費公債發行所關之件）七、敕允昭和七年度一般會計歲出財源。發行公債所關法律案（赤字公債）。八、行政整理或軍備整理後二時再開。

農村救濟問題

政府急作具體法案

十四日東京電。農村救濟問題。政府欲急具體案。十五日議會開會後。關係五省會議。握切法制局長官。柴田書記官長等出席。整理準備立案。十六日開關係五省會議。

四頭政治統一

不可徒作巨大組織

內田總裁陸相會談

十四日東京電。十三日晚就今後滿洲對策、交換意見。本陸相。與內田滿鐵總裁會見。就滿洲當面問題。一、滿洲國正式承認之事。既成條約及新條約關係之整理。新條約文之作製。對於既成國際條約態度。方針之決定等詳般進捗。宜速承認之。二、四頭政治統一。不可徒作虛大組織。總以實質本位爲骨子。且其首班爲關東軍司令官。滿鐵爲絶然企業會社。此三項其他根本方針。全般意見一致。十四日議會散會後。再會見而論却目又總裁受外相就任之交涉自云。

年老耳聾。就任外相英如仍爲滿鐵總裁。作最後奉公較爲適當。乃辭退之首相固請就任。再考慮後一三日。乃欲答之。

內田伯訪拓相

議對滿策

十四日東京電。內田滿鐵總裁。十四日午前十時半訪永非拓相於官邸。敍上京之禮。報告滿洲事情。

臺灣愛國號飛機

七月十日命名式

二日間全島訪問飛行

全島民赤誠結晶之愛國號飛機。行將飛羅于本島上空。在屏東組立後當場愛國號。前七月十日午前九時。于臺北練兵場。舉行命名式。而七月八日。屏東飛行場降陸空輪到臺北練兵場。十一日傍飛。十二日午前八時半。翔降臺北飛行後若陸。午後一時半。再降練兵場。訪問基隆。宜蘭。蘇澳花蓮港及臺東。訪問花蓮港。臺東上空。訪問飛行後。若陸。午後一時半。再降練兵場。訪問基隆。宜蘭。蘇澳花蓮港及臺東。訪問花蓮港。臺東上空。訪問飛行後。若陸。午後一時半。再降練兵場。訪問基隆。宜蘭。蘇澳花蓮港及臺東。訪問花蓮港。臺東上空。訪問飛行後。若陸。午後一時半。

鷄疫病菌

小倉博士發見

竝得治療法

本島各地方。于四五年前鷄疫流行。而非家禽虎列拉。亦非傳腸窒斯。爲其病原菌不明。疾病。大受修害。養鷄業者。非常被脅。

林森氏將辭職

云欲慰留宋、陳氏等

急之上海不入南京

十三日安慶電。政府首腦林森氏。十二日歸自洛陽。十三日朝。在下關與汪兆銘氏會見。不入南京。急赴上海。稱欲慰留宋子文。陳銘樞氏等。然林氏假欲。提出辭表云。

捐軍資百五十萬元

學銘將奪還東三省

十三日南京電。張學銘在上海。南京方面。鳩集一費百五十萬元。頗稱得意。近將歸北。奪還東三省云々

滿洲銀行

十五日開店

十二日新京電。滿洲中央銀行。決定六月十五日創立開店。總裁乃元吉林財政總長。榮厚氏。副總裁爲元奎璘理事山成喬六氏。

滿洲國

執政令公布

十二新京電。滿洲國政府十二日以執政令。公布滿洲國貨幣法中央銀行法。

中部地方雨水連綿

早稻發芽蔬菜浸死

農民望晴心急

中部地方。自去六日以來雨水連綿。一般苦之。殊氏想農產物。被害不少。如臺中州員林街地方。肥料販賣業者。四同業者激增。各競爭販賣。致利益無多。是以同街同業者江振輝。吳友經。王良文。詹德宜。劉李等之佃商連及李俊榮氏等。外數名。有鑑及要防止無謀競爭販賣及欲圖業務統一。竝欲遵守諸法規等。起見。擬欲組織肥料業組合。屢次集合協商。或各界諒解。近日中當正式開發起人會云。

員林肥料商

擬組織組合

臺中州員林街地方。肥料販賣業者。四同業者激增。各競爭販賣。致利益無多。是以同街同業者江振輝。吳友經。王良文。詹德宜。劉李等之佃商連及李俊榮氏等。外數名。有鑑及要防止無謀競爭販賣及欲圖業務統一。竝欲遵守諸法規等。起見。擬欲組織肥料業組合。屢次集合協商。或各界諒解。近日中當正式開發起人會云。

臺銀兩課長

入滿銀行

尙有六七名

臺灣銀行。十四日人事異動。發表如下。臺北調查課長兼檢查課長竹本伊一郎氏。爲滿洲中央銀行調查課長。臺北營業課長兼檢查課長高木統二郎氏。同上兩氏。行將轉入滿洲中央銀行。爲幹部行員。同此轉出滿洲者。更有六七名。又兩氏訂日離臺。卽高木氏二十一日。竹本氏十八日云

定期敍勳

陸軍大將從三位勳一等功四級　林　銑十郎
敍勳一等授瑞寶章
商工大臣從三位勳三等　男爵　中島久萬吉
拓務大臣從三位　永井柳太郎
敍勳二等授瑞寶章（各通）

顧蔣會見

決定渡日問題

十四日南京電。顧維鈞氏十四日午前八時。乘飛行機。發表如下。臺北調查課長竹本伊一郎氏。爲滿洲中央銀行調查課長兼檢查課長高木統二郎氏。同上兩氏。行將轉入滿洲中央銀行。爲幹部行員。同此轉出滿洲者。更有六七名。又兩氏訂日離臺。卽高木氏二十一日。竹本氏十八日云

朴信總代選舉

東石郡朴子街朴子信用組合。每年通常總會。將山名組合員出席議事。自昨年。經總會通過定款中。總會變爲總代會。爰訂左記日程。先舉各區總代選舉。

第一區六月十八日午前九時。第二區同日午後一時。第三區十九日午前九時。第四區同日午後一時。第五區二十九日。午前九時。第六區同日午後一時。第七區至九區期日未定。

桃園郡產組

聯合事務研究

桃園郡街庄產組聯合會。於去十二日上午十時起。在埔子信組事務所。召集各產組重役職員等。由村上郡庶務課長。由工主任小松郡屬。市來州屬以下諸來賓列席。開產組事務研究會。者由村上課長。先就勵行事項訓示。併小松屬提示左開研究事項。議事十一時半。由市來州屬說明。

一、以死亡者名義。由組合借金之處置如何。
（八塊信組提出）
二、組合員移轉於區域外脫退組合之件。（竹圍信組提出）
三、關于持分脫退請求權之件。（南崁信組提出）
四、對志邦組合精神。以所信產業資金而消費於生活費之趨向其弊於是處置方法若何（龜山信組提出）
五、關于組合員家族之吸收方法。須以何種種。吹噓今後若干年。此卽本題主旨。又不論案

基隆社寮島民陳情

反對渡船賃起價

訪市役所警察署

基隆市社寮町之委員余致元代表。去十三日午前十一時。訪問服部署長。及宗森高等主任。歎願內容如左。

最近社寮島民六百戶。因不通影響。生活維艱。不少有因不納電燈料。被停電。及不納完納稅金。被差押者。而客年對市當局包辦該島渡船之井上龜太郎。其經營方針。甚官僚式。更無視占利用者九成之島民。現爲渡船賃。漲價距離稍長。欲納渡賃大人三錢。小童二錢。且對從來無償之通校兒童。亦徵收一錢。一味懦利是圖。吾輩直接屢與之交涉。彼頑不肯聽。我島民貧難年一年。此種渡船賃。欲各近鄰約束廢止